

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第13週の発生動向

全数報告の感染症 (13週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：播種性クリプトコックス症1例

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核	咳、発熱
		日南市	70歳代	女	肺結核及び結核性髄膜炎	痰、発熱、けいれん
		日南市	80歳代	男	肺結核	痰
		日南市	80歳代	男	肺結核	痰
5類	播種性クリプトコックス症	宮崎市	80歳代	女	—	意識障害、真菌血症

定点把握の対象となる5類感染症

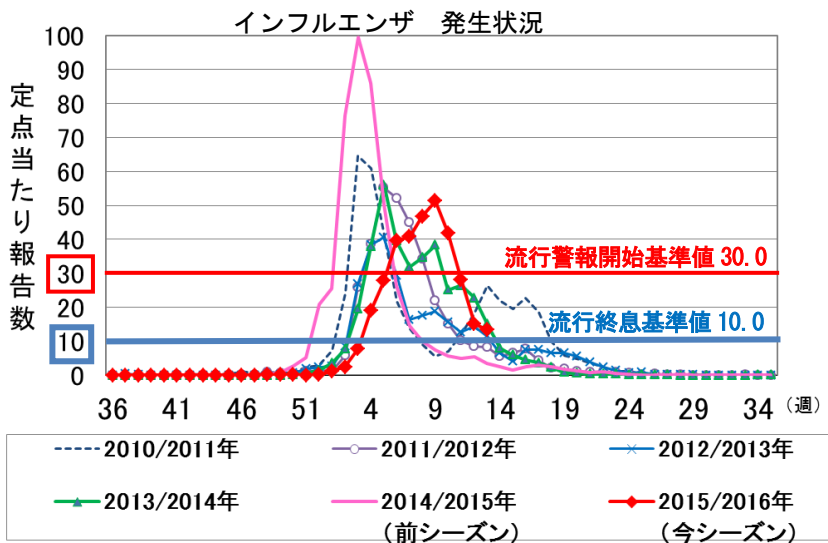
・定点医療機関からの報告総数は1,434人(定点当たり35.9)で、前週比99%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

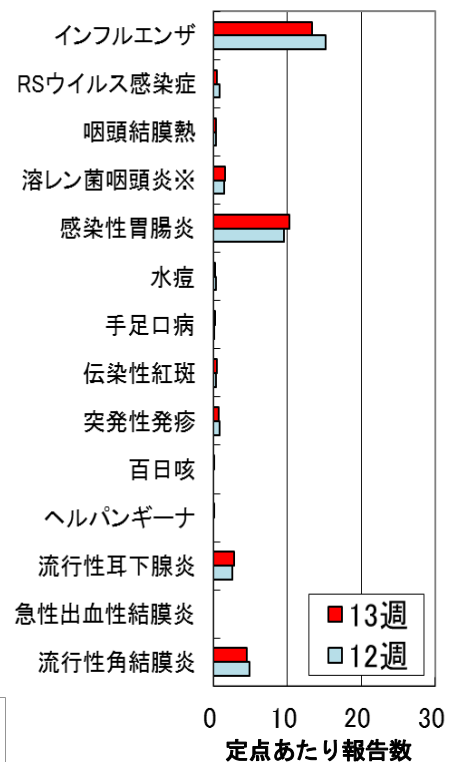
【インフルエンザ】

・報告数は784人(13.3)で、前週比88%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(11.9)の約1.1倍であった。年齢群別では5歳未満が全体の22%、5-9歳が34%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が6%を占めた。詳細後述。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



《前週との比較》

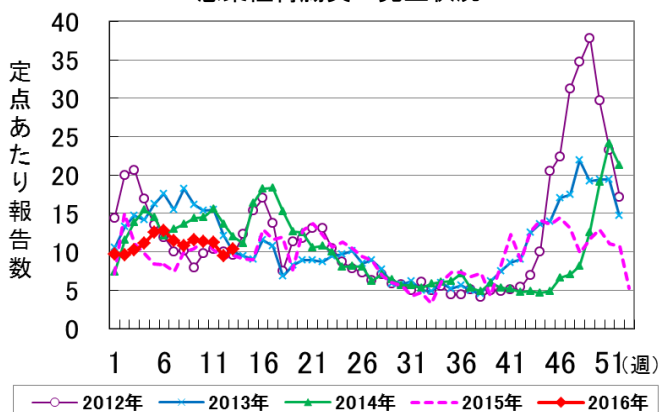


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

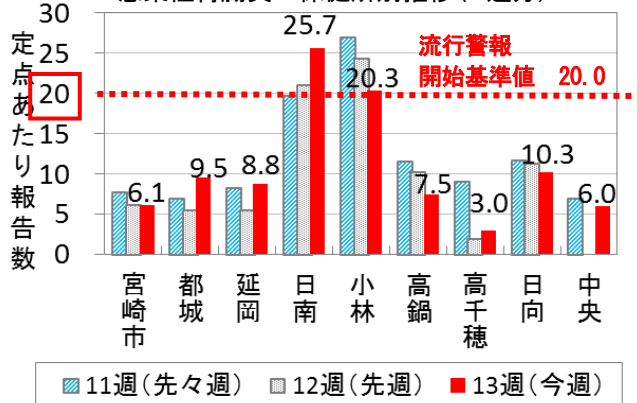
【感染性胃腸炎】

・報告数は371人(10.3)で、前週比109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(12.1)の約0.9倍であった。日南(25.7)、小林(20.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~5歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎 発生状況



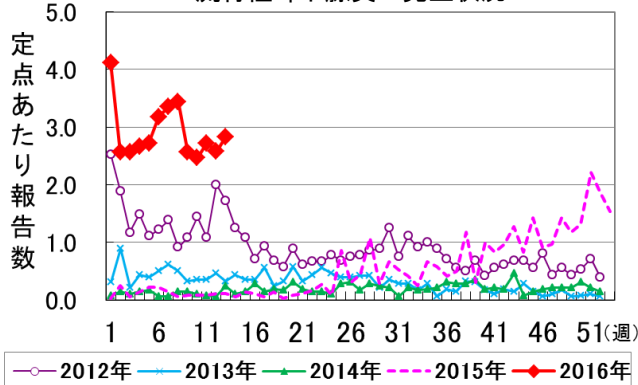
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



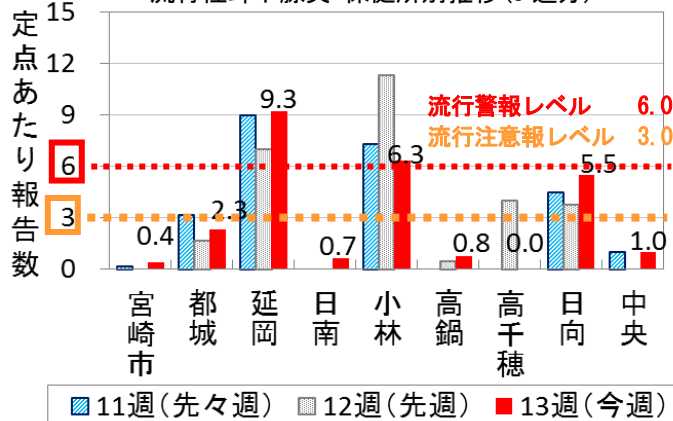
【流行性耳下腺炎】

・報告数は102人(2.8)で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.95)の約3.0倍であった。延岡(9.3)、小林(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約5割を占めた。

流行性耳下腺炎 発生状況



流行性耳下腺炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：延岡保健所から1例報告があった。15~19歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から1例報告があった。5~9歳であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から2例、延岡保健所から1例、日向保健所から2例報告があった。0~4歳が5例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(13.8)
都城	インフルエンザ(14.3)
延岡	インフルエンザ(16.9)、流行性耳下腺炎(9.3)
日南	感染性胃腸炎(25.7)
小林	インフルエンザ(13.0)、感染性胃腸炎(20.3)、流行性耳下腺炎(6.3)
高鍋	インフルエンザ(12.8)
高千穂	なし
日向	流行性耳下腺炎(5.5)
中央	インフルエンザ(22.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

🇯🇵 全国 2016 年第 12 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 12 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	280 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	9 例	ジカウイルス感染症	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	13 例	マラリア	3 例
	レジオネラ症	7 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	18 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	6 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例	水痘（入院例）	4 例	梅毒	50 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例	風しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 72%と減少した。前週と比較して大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 68,369 人 (13.8) で前週比 65%と減少した。福井県 (24.3)、北海道 (21.5)、岩手県 (20.7) からの報告が多い。年齢群別では 5 歳未満が 19%、5-9 歳が 32%、10-14 歳が 18%、15-19 歳が 4%、20-59 歳が 21%、60 歳以上が 6%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第13週(3月28日～4月3日)

疾病名		第12週	第13週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	896	784	220	143	118	45	65	77	13	59	44
	定点あたり	15.19	13.29	13.75	14.30	16.86	9.00	13.00	12.83	6.50	9.83	22.00
RSウイルス 感染症	報告数	28	17	7	3	2		2			2	1
	定点あたり	0.78	0.47	0.70	0.50	0.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	12	13	4	2		4	1	1		1	
	定点あたり	0.33	0.36	0.40	0.33	0.00	1.33	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	53	54	12	9	6	8		5		12	2
	定点あたり	1.47	1.50	1.20	1.50	1.50	2.67	0.00	1.25	0.00	3.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	341	371	61	57	35	77	61	30	3	41	6
	定点あたり	9.47	10.31	6.10	9.50	8.75	25.67	20.33	7.50	3.00	10.25	6.00
水痘	報告数	11	8	1	1	1		1	1			3
	定点あたり	0.31	0.22	0.10	0.17	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	1	7	1	2						2	2
	定点あたり	0.03	0.19	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.00
伝染性紅斑	報告数	12	18	7	2	1		2	2	2		2
	定点あたり	0.33	0.50	0.70	0.33	0.25	0.00	0.67	0.50	2.00	0.00	2.00
突発性発しん	報告数	30	24	10	3	2	1	1	2		4	1
	定点あたり	0.83	0.67	1.00	0.50	0.50	0.33	0.33	0.50	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	93	102	4	14	37	2	19	3		22	1
	定点あたり	2.58	2.83	0.40	2.33	9.25	0.67	6.33	0.75	0.00	5.50	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	29	27	18	9							
	定点あたり	4.83	4.50	6.00	4.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	5	2		1					2	
	定点あたり	0.29	0.71	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～13週)

2類感染症	結核	49例(4)			
4類感染症	A型肝炎	3例	つづが虫病	4例	
	アメーバ赤痢	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎 5例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒 4例
	播種性クリプトコックス症	3例(1)	破傷風	1例	

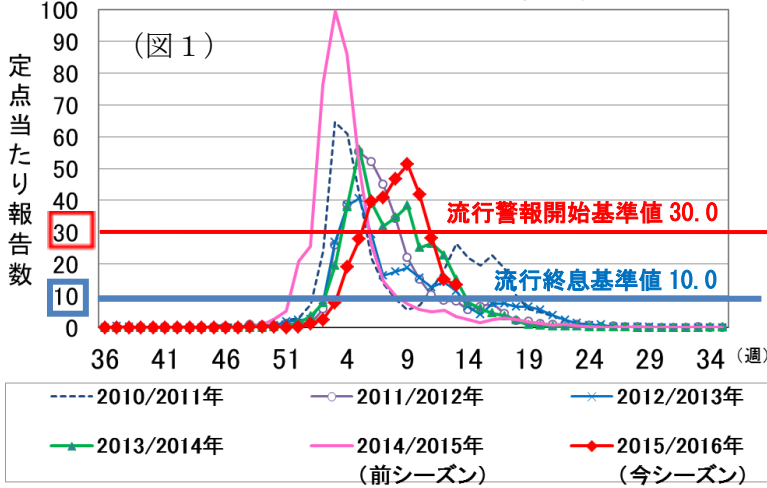
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第13週、全国第12週（再掲）》

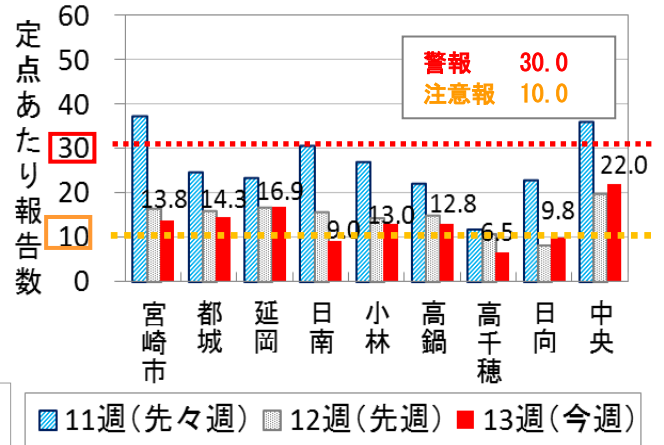
□ 県内第13週インフルエンザ発生動向

2016年3月28日～4月3日までの1週間で784人（定点あたり13.3）の報告があった。前週の約0.9倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*（11.9）の約1.1倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の22%、5-9歳が34%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が6%を占めた。（図3）

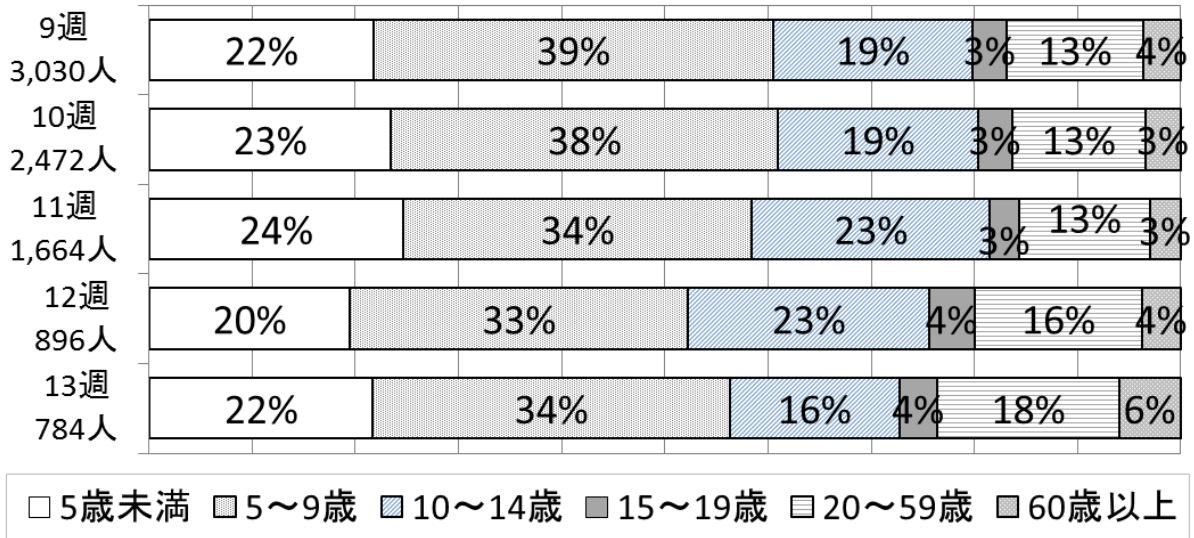
（図1）インフルエンザ発生状況



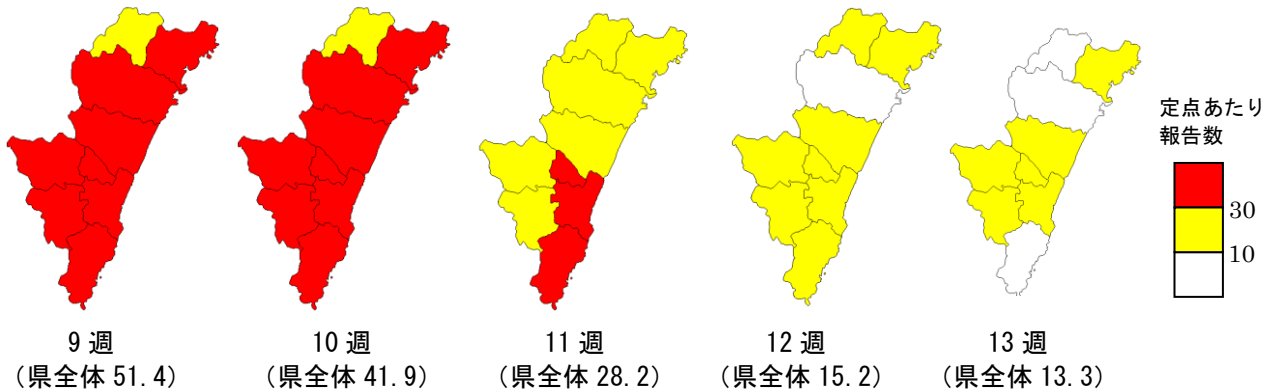
（図2）インフルエンザ保健所別推移（第11～13週）



（図3）年齢群別割合の推移（第9～13週）



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第9～13週



□ 全国第12週インフルエンザ発生動向

2016年3月21日～3月27日までの1週間で68,369人(13.8)で前週比65%と減少した。福井県(24.3)、北海道(21.5)、岩手県(20.7)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が19%、5-9歳が32%、10-14歳が18%、15-19歳が4%、20-59歳が21%、60歳以上が6%であった。